



町のキヤッチフレーズ
「住んでよし 来

町のギャッチフレーズ

「よし 来よし 元氣島」を
空念仏に終わらせはならぬ

美しい町へ

一年で一番美しい季節。筆者によつてはそれは五月、そう今的新緑の季節だ。野も山も一斉に若葉が萌え、色とりどりの花が咲き、まあ昨今は花粉症の蔓延で、花の咲く季節はダイツキライという向きもおられようが、見てゐるだけでエネルギーが湧いてくる。

宝物だと、ある人が言つていた。
たしかにそうに違ひない。

物事には起承転結があり因果
があり、そして仏教思想的には
応報というものがある。「今」
は過去の出来事の結果であり、
つまりは未来の出来事の原因で
ある。そう考へると、「今」を
最善を尽くすしか我々人間には
正しく生きる道はない。



旧弓削保育所にあった遊具が、弓削・久司浦地区にある鯨池公園で生まれ変わった。弓削保育所の佐島小学校跡への移転に伴い不要となり廃棄処分される運命にあった滑り台。久司浦地区の人々の手によってきれいに塗り替えられ、ふたたび活用される。使える物は有効に使う。

まさに因果応報。因は我々住民側にあつたということなのだが、住民自治はそれを唱えているだけでは何の実りももたらさない。この度の署名運動は、自分の切実な危機感を、自らの頭で考え、町民一般の危機感につなげ、その行為に踏み出したことで価値ある一步となつたのだ。

■「今」が未来の禍福の種

島という一種の閉鎖社会ではなれ合うことも生きる知恵ではある。しかしそうしたなれ合いの数々の結果も我々はたくさん見てきた。ここは一番、住民としてはなにをすべきか。改めて熟慮する時期に来ているのではないかとも思う。

ところで毎号毎号、判で押し

■「今」が未来の禍福の種 実は以下が大事な事だ。そういう不誠実な行政(議会も含め)を守り育てて来たのが、じつは親戚選挙を是としてきた我々老人世代とそれらが育てた次世代だという巡り合わせ。今はその 苦汁をしつかり味わうべきときなのかもしれない。

まさに因果応報。因は我々住民側にあつたということなのだが 住民自治はそれを唱えているだけでは何の実りももたらさない。この度の署名運動は、自分の切実な危機感を、自らの頭で考え、町民一般の危機感につなげ、その行為に踏み出したことで価値ある一步となつたのだ。

この女性達にまなぶ 首長の不作為がもたらしたもの

な航路継続のチャンスがあつたにもかかわらず、議会の無能と、その構成員である殆どの議員のやる気の悪さが首長の不作為を助長したことは否めない。それにもかかわらず、弓削島内の高齢女性数名が、航路存続のために尽力して欲しいと、町長に八百余名の嘆願署名を集めて提出したことは特記に値する動きで、あつた。たとえその行為が時期を逸していたとしても、自ら考え、動き、行政に対して意思表示をしたということは、一方でいくらでも力を發揮出来る地位にいながら安穩を決め込んでいる危機感の希薄なセンセの方よりよほど議員にふさわしい。

この女性たちの切実な思いが、「はい、わかりました」という首長の軽い返事でいなされたとしたら、それは「不誠実」とイコールである。不誠実な議員、不誠実な首長、そして不誠実な公務員。このそろい踏みが続く限り、外面ばかりの町になりはてるのは目に見えている。実は以下が大事な事だ。そう

A simple line drawing of a stack of papers or documents tied together at the top with a ribbon, accompanied by a pen.

■住民自治は念仏ではない

たように沈みゆく我が町の行く末を憂う記事ばかりでは読むに耐えないであろう。想像に難くない。それは筆者の不徳である。町内には輝く未来にむけ情報発信をしている人も数多くいる。美しい自然のある我が町。我が町が真に美しい町と呼ばれるには人心の美しさで内面から輝くことも大切。そして、その人心の美しさは、今の自らの安逸を思うばかりでは身につかないのではなくかうかと、あいもかわらず思うのである。

きどぐち（十三）

青木喜代子

あなたが生まれた日はどんな日でしたか。私は三月も末の明日方四時頃。

その日は一日中良いお天気だつたらしい。近所の助産婦さんに取り上げてもらい、人にふまれると元気に育たないと、大きな木の根元に深い穴を掘り、父は後産を埋めてくれたらしい。その後、その父に教わったこと。人に頼まれたらイヤな顔をせずに協力すること。ハイ、頼まれんでも出しやばつてやつてます。父が案じていたこと。

「どこへ嫁に行くんか知らんが、いくら言つても直らん！」私は歯ミガキチユーズをえもなく押して使うので、チューブはデコボコ。父は洗面台の角できれいに整えてくれた。大丈夫よ。優しい夫は、父さんと同じ事を続けてくれて三十三年経ちました。

私がお腹にいる間食事に気をつけてくれた母から教わった

と。自分さえよければいいと思わないこと。この度の震災で再認識。支援物資の中にお気に入りの服を入れて送った。ポカポカ陽気のある日、いくら捜しても見つからない。お気に入りのあのセーターが、あー! 送つていたのを忘れてた。・・・。
大丈夫。これにこりずにちゃんと教えを忘れず、これからも生きて参ります。

間。みんな頑張つてゐるんだから上手に使うようだ。妹に話すと「私は聞いたことがない」母に問うと「そんなこと言つた?」え?、私ははずつと頭の隅にあつて、ちよつと昼寝したくても、みんな働いていると思うと出来ずにいたのに。。やれやれ。

6月15日(水)
18:30開演 テアトロシェルネ

尾道市民劇場
尾道市役所3-19号(0848)20-0212
入会金◆500円
会費(1ヶ月分)
◆一般 2500円
◆学生 1200円
◆生徒 700円

新入会員大募集!!

◎市民劇場会員になるには…
入会金500円と2カ月分の会費を添えて知り合いの会員か事務局に申し込

地域創造 NPO 頼れるふるさとネット通信

2011.5.15 №1

発行者 特定非営利活動法人頼れるふるさとネット
☎&Fax 0897-77-3072 (事務局・平山)
090-8247-5279 (携帯電話・平山)
0897-72-9188 (事務所/やよみ事)
〒794-2506 愛媛県越智郡上島町下弓削 515
メール k-jitikenkyuukai@amber.plala.or.jp

特定非営利活動法人（NPO）「頼れるふるさとネット」は平成23年4月26日、法人登記されました。このNPOは篤志家の寄付金と会員の会費を原資とし、法人の定款に定める次の様な活動をします。

[活動目的における基本的考え方]

(1) 地域住民自治の構築

地域の存続のため住民が互いに助け合い、地域は地域で守るという「住民自治」を構築することで地域の活性化と町づくりに貢献します。

(2) 多様な人、文化、活動を受け入れ育てつなげる地域づくり

ふるさとへ帰りたい、あるいは他の地域からの移住を希望する人を積極的に受け入れ定住することを推進、支援します。その為に「帰りたい」「住みたい」と切望してもらえるよう、従来にはない文化・価値なども積極的に受け入れ融合させること、また地域内での住民による様々な活動を支援することで、今までにない魅力の再発見に発展するような地域づくりを進めます。

(3) 地域資源の再発見と外部への発信

従来からの地域の歴史・文化をもう一度調査、編纂、保存、継承します。また埋もれてしまった資源を発掘し、従来からのものと共に生かして、地域内はもちろんのこと、観光資源に繋げることにより、外部へ向けて地域情報を発信し、地域の振興活性化等への活用を図ります。

こう書けば硬い言葉で抽象的です。また受け取る皆さん方にもそれぞれのイメージがあることでしょう。

萌える緑に
誘われて

安藤朋生 茨城県



GW前に何としてでも震災前の通常業務に戻す狙いで急ピッチに進められた工場再建は、それは毎日が忙しく、寝ても覚めても仕事の段取りで頭が一杯。めちゃくちゃ忙しいけど、何だか楽しいじゃないか!だけ今まで真面目にやってこなかったことが一気に吹き出す。神様もう二度とサボったり、くさったりしませんから、どーか少しだけ力を貸して下さい...と、とにかく悔やまれてならぬ仕事ぶりなのである。それを

まあ微笑ましく今頃仕事に目覚めたか?と笑う課長もいたりし、天パリ具合も想像を超えると、そこはやはり笑いながらしばし待って話し出す課長もいて、心底とても有り難く感じた。

ダメでも何でも真面目に向き合うことが重要で、遠回りしたけどこの感覚に辿り付けて良かった。仕事への再建に取り組もうじゃないか私!と目の前の連休に涙で手を振ったのは、言うまでもないのだ。

毎日フル回転で仕事をこなした結果、3~5日の3日間の連休を頂くことが出来た。そうとなつたらいざ出陣である!

焼き物のフェス、笠間の陶器市である。早朝6時半に出発し30分程で到着。この時間に来るト、ゆっくり気持ちのいい朝を満喫出来る。テント1つ1つに在の家主に代わ個性を感じ、不¹⁰て作品がエネルギーを放つ。

人のまばらな
この時間が大好き!
そんな素敵
な時間にフッと
思い出してしま
う原稿と編集長。

こういう時、必ず伝わるのかタイミング良く連絡などあったりするから驚きである。というか謝ります!ごめんなさい(>人<)謝ってる間に目当てのテントへ辿り着く。

茨城県最大ではないだろうか、



2011/05/01

ネットの巻完了を記念して「やよみ事」の前で。
【監事】平山和昭、宮脇馨、古崎公一
【事務局】村瀬忍、濱田高嘉
【弓削港】弓削港
【町舎】町舎
【ログハウス】ログハウス
【弓削漁船】弓削漁船
【松原海岸】松原海岸
【フェスパ】フェスパ

学びとひらめきの井戸端会議

例えば(1)に関して私達は「やよみ事」という地域の人達の交流の場をつくりました。「学びとひらめき井戸端会議活動ひらめき隊」となづけ、語り合うことで地域の課題を見つけ、解決への糸口を探っていきます。ひとの動きは語り合う中で生まれてくると思うからです。

例えば(2)に関しては「おせっ会」というテーマで他者の支援を目的とします。

Iターン、Uターン、都会での居場所をうしなった人への、あるいは災害罹災者等への一時避難場所の提供、町内の方の一時仮住まいなどの目的でやよみ亭敷地内に一棟の住宅を用意しました。

たかが一棟。何が出来るというものでもないでしようが、小さな取り組みからでも物事は広がってゆくと信じます。

あるいは買い物弱者、つまり日常の買い物が思うにまかせない人も地域にはおられるでしょう。「御用聞き隊」とか、交通弱者対策として「ついてく隊」、地域資源の再発見を試みる「めっけ隊」など表現の違いこそあれ取り組むべきテーマは沢山あります。それらの隊を、地域の皆さんのご協力を得て結成したいです。

新しくオープンした離島体験交流施設フェスパのお客様に向けた「地元の素人によるガイド隊」も面白そうです。大切なことは、私達が「して貰う」ことから入るので

はなく、まず地域の人々自身が、相談ぶつて、力を出しあって自分たちの必要とする仕組みを作る。それを私達も一緒になって取り組むことだと考えます。お節介をし、お節介を受け入れる・・・。

私達がいまより遙かに貧しく、不便であった時代、そういう事は誰に言われるでなく地域の中で実行されていました。そしてまさに現在、私達全てが頼り頼られる関係を取り戻すことでしかこの町の生き残る道は無い。事態はそこまできてしまっていると感じます。そこに住む人々すべてが知恵と力を供出する。それ無くして、この町が独立した町として存続することは難しい。そう思うのです。

若い人がこの町へ入って来なければ町に未来はありません。私達は「都会と田舎をつなぐ活動」で町の永続に寄与したいと願っています。若者の移住に取り組むにしても、皆さんのご参加とご協力が無ければ出来ません。

行政が第一優先で考えるべきことは住民のこと。住民が第一優先で考えるべきことも住民のこと。つまり、みんなこの一点で同じ目的なのではないでしょうか。

私達の活動に積極的に参加していただき力を貸して下さるようお願い致します。

「頼れるふるさとネット」理事長 平山和昭

頼れるふるさとネット通信は随時掲載します。

香川県出身の海野弥生さん。彼女とは去年お知り合いになつたばかり。海野さんの作品は海がモチーフで、その彩色とデザインがとても彼女らしく一目惚れしたのだ。私は勝手に「海野ブルー」と呼んでいるけど、白の作品もあってこちらも個性的でありながら落ち着いた風合いが目を惹き1つ購入することに。

そういえば海野さんが私のblogを見て連絡をくれた方がいたと言うから2人で盛り上がった。

帰りの運転は楽しかった。必ず島で計画したい気持ち沸き上がる。だからこの原稿は・・・打ち切られないように応援して下さい(TAT)ね。

